

第3章 市民意向把握

1. 調査概要等

(1) 調査の目的

本市の住民が、日頃の生活のなかで感じている住生活に関する意向調査を、以下の趣旨に基づいたアンケート調査により実施した。

(2) 調査の概要

- 調査名：住生活に関する市民アンケート調査
- 調査対象者：平成30年8月現在、豊見城市にお住まいの方の中から、無作為に抽出した2,000名の方
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査期間：平成30年10月6日～平成30年10月19日
- 主な調査項目：
 - ・現在のお住まいについて
 - ・住宅や周辺環境の評価等について
 - ・今後のお住まいについて
 - ・豊見城市の住宅施策について
 - ・回答者の基本属性について

(3) 配布回収状況

- 配布数（A）：1,994通（※あて先不明で6通返送されたため）
- 回収数（B）：603通
- 有効回収率（B/A）：30.2%

2. 調査結果

(1) アンケート結果

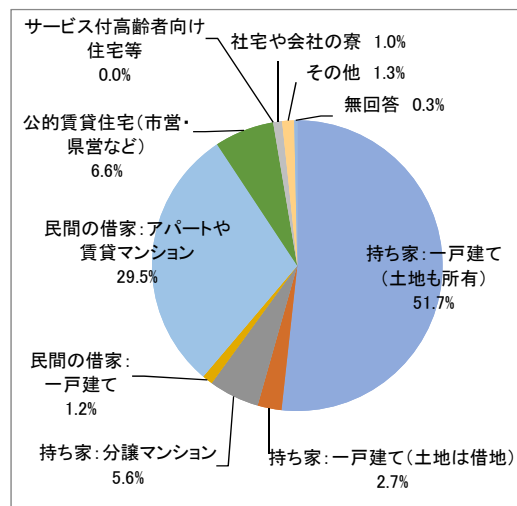
前述したアンケートの目的・概要に沿って調査した結果を以下に示します。

1. 現在のお住まいについてお尋ねします。

問1-① 所有関係と建て方（単一回答）

- 「持ち家：一戸建て(土地も所有)」が約52%と半数を占めて最も多く、次いで「民間の借家：アパートや賃貸マンション」が約30%、「公的賃貸住宅」の約7%、「持ち家：分譲マンション」の約6%となっています。

選択肢	人数	割合
持ち家：一戸建て(土地も所有)	312	51.7%
持ち家：一戸建て(土地は借地)	16	2.7%
持ち家：分譲マンション	34	5.6%
民間の借家：一戸建て	7	1.2%
民間の借家：アパートや賃貸マンション	178	29.5%
公的賃貸住宅(市営・県営など)	40	6.6%
サービス付高齢者向け住宅等	0	0.0%
社宅や会社の寮	6	1.0%
その他	8	1.3%
無回答	2	0.3%
計	603	100.0%



【小学校区別】

- 「上田小学校区」以外の校区で「持ち家：一戸建て(土地も所有)」が最も多く、特に「長嶺小学校区」では73%、「座安小学校区」では70%を占めています。
- 「民間の借家：アパートや賃貸マンション」が多い校区は、「上田小学校区」で46%、「ゆたか小学校区」で41%、「とよみ小学校区」で36%となっています。

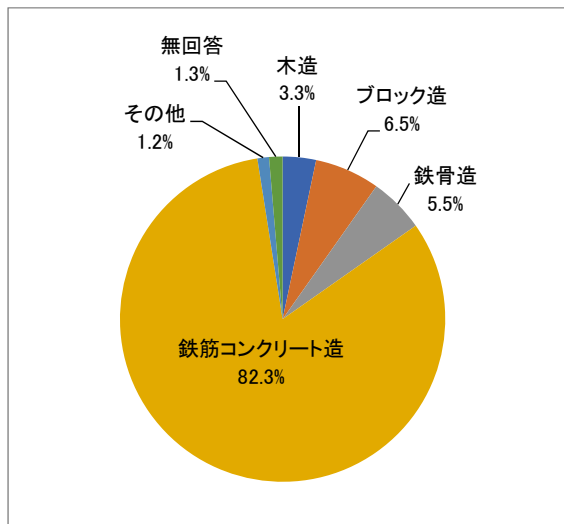
(人数、割合)

	上田小学校	長嶺小学校	とよみ小学校	豊見城小学校	座安小学校	伊良波小学校	豊崎小学校	ゆたか小学校	不明	総計
持ち家：一戸建て(土地も所有)	29 40%	61 73%	40 45%	14 25%	46 70%	42 55%	35 58%	32 46%	13 42%	312 52%
持ち家：一戸建て(土地は借地)	1 1%	7 8%	4 5%	0 0%	0 0%	3 4%	0 0%	1 1%	0 0%	16 3%
持ち家：分譲マンション	6 8%	1 1%	7 8%	7 13%	0 0%	1 1%	9 15%	1 1%	2 6%	34 6%
民間の借家：一戸建て	2 3%	1 1%	1 1%	0 0%	1 2%	0 0%	0 0%	2 3%	0 0%	7 1%
民間の借家：アパートや賃貸マンション	33 46%	10 12%	32 36%	16 29%	13 20%	18 23%	15 25%	29 41%	12 39%	178 30%
公的賃貸住宅(市営・県営など)	0 0%	1 1%	2 2%	17 30%	5 8%	7 9%	0 0%	4 6%	4 13%	40 7%
サービス付高齢者向け住宅等	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
社宅や会社の寮	0 0%	0 0%	1 1%	0 0%	1 2%	4 5%	0 0%	0 0%	0 0%	6 1%
その他	1 1%	1 1%	1 1%	2 4%	0 0%	1 1%	1 2%	1 1%	0 0%	8 1%
無回答	0 0%	1 1%	0 0%	0 0%	0 0%	1 1%	0 0%	0 0%	0 0%	2 0%
総計	72 100%	83 100%	88 100%	56 100%	66 100%	77 100%	60 100%	70 100%	31 100%	603 100%

問1-② 住宅の構造（単一回答）

- ・「鉄筋コンクリート造」が約82%と過半数を占め、次いで「ブロック造」「鉄骨造」の約6%、「木造」の約3%となっています。

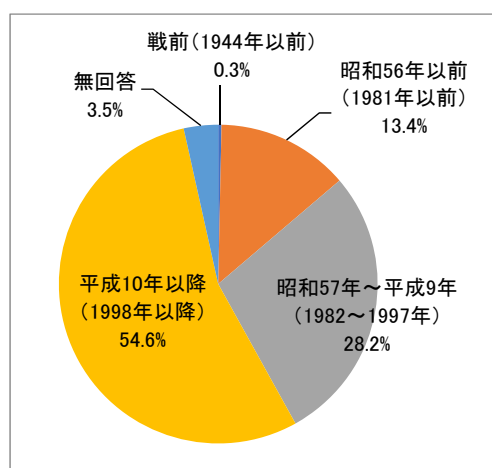
選択肢	人数	割合
木造	20	3.3%
ブロック造	39	6.5%
鉄骨造	33	5.5%
鉄筋コンクリート造	496	82.3%
その他	7	1.2%
無回答	8	1.3%
計	603	100.0%



問1-③ 現在の住まいの建築時期（単一回答）

- ・「平成10年以降」に建築されたものが約55%以上で半数以上を占め、次いで、「昭和57年～平成9年」の約28%、「昭和56年以前」の約13%となっています。
- ・「戦前」に建てたものは0.3%と最も少なくなっています。

選択肢	人数	割合
戦前(1944年以前)	2	0.3%
昭和56年以前(1981年以前)	81	13.4%
昭和57年～平成9年(1982～1997年)	170	28.2%
平成10年以降(1998年以降)	329	54.6%
無回答	21	3.5%
計	603	100.0%



【小学校区別】

- ・「長嶺小学校区」以外の校区で「平成10年以降」が多く、特に「豊崎小学校区」では約85%、「上田小学校区」では約61%を占めています。
- ・一方、「長嶺小学校区」では「昭和57年～平成9年」が最も多く約41%を占めており、比較的年数が経過している建物が多い校区であると言えます。

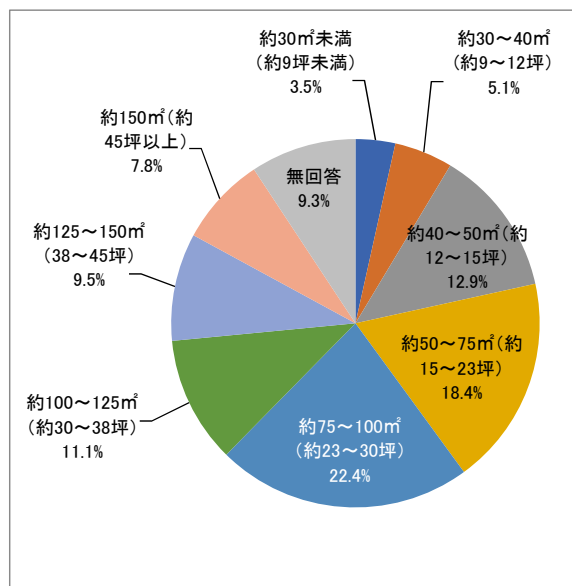
(人数、割合)

	上田小学校	長嶺小学校	とよみ小学校	豊見城小学校	座安小学校	伊良波小学校	豊崎小学校	ゆたか小学校	不明	総計
戦前(1944年以前)	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
昭和56年以前(1981年以前)	11	19	11	7	9	9	2	9	4	81
昭和57年～平成9年(1982～1997)	16	34	29	16	19	20	2	23	11	170
平成10年以降(1998年以降)	44	29	43	31	36	44	51	36	15	329
無回答	1	1	4	2	1	4	5	2	1	21
総計	72	83	88	56	66	77	60	70	31	603

問1-④ 住宅の広さ(単一回答)

- ・「75～100㎡」が約22%と最も多く、次いで「50～75㎡」の約18%、「40～50㎡」の13%、「100～125㎡」の約11%となっています。
- ・「30㎡未満」の回答は約4%と最も少なくなっています。
- ・「40㎡～100㎡」の住宅が半数を上回っています。

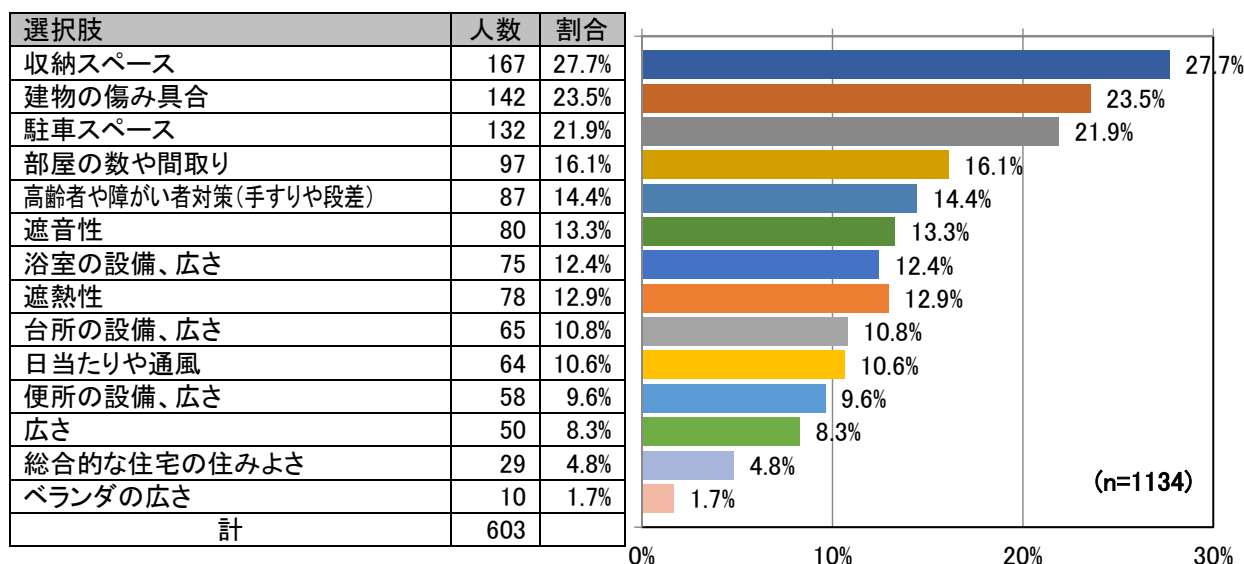
選択肢	人数	割合
約30㎡未満(約9坪未満)	21	3.5%
約30～40㎡(約9～12坪)	31	5.1%
約40～50㎡(約12～15坪)	78	12.9%
約50～75㎡(約15～23坪)	111	18.4%
約75～100㎡(約23～30坪)	135	22.4%
約100～125㎡(約30～38坪)	67	11.1%
約125～150㎡(約38～45坪)	57	9.5%
約150㎡(約45坪以上)	47	7.8%
無回答	56	9.3%
計	603	100.0%



2. 住宅や周辺環境の評価等についてお尋ねします。

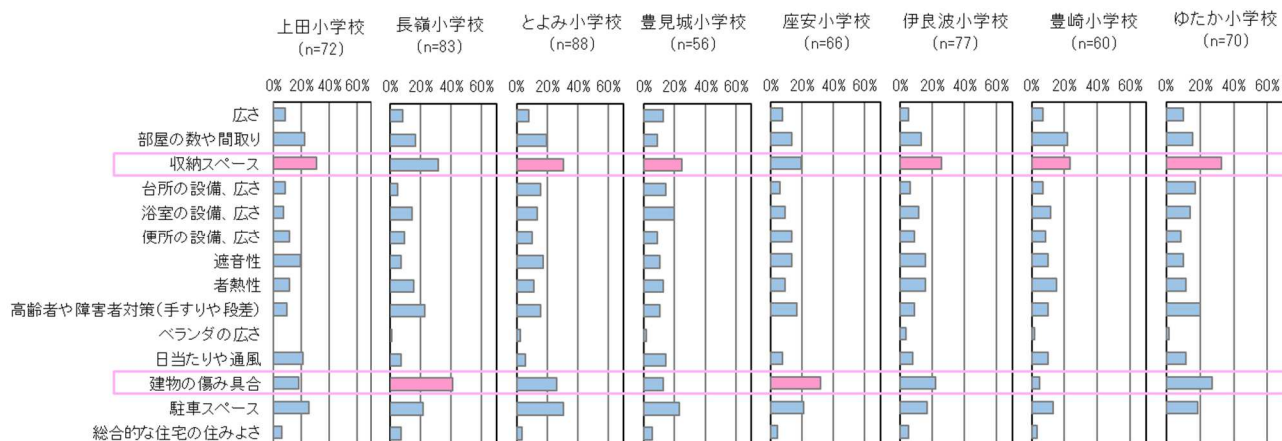
問2 住宅・住環境について困っていることはありますか。(複数回答)

- ・「収納スペース」と回答した方が約28%と最も多く、次いで「建物の傷み具合」の約24%、「駐車スペース」の約22%となっています。
- ・平成14年度の調査から今でも「収納スペース」は変わらず高い傾向があります。



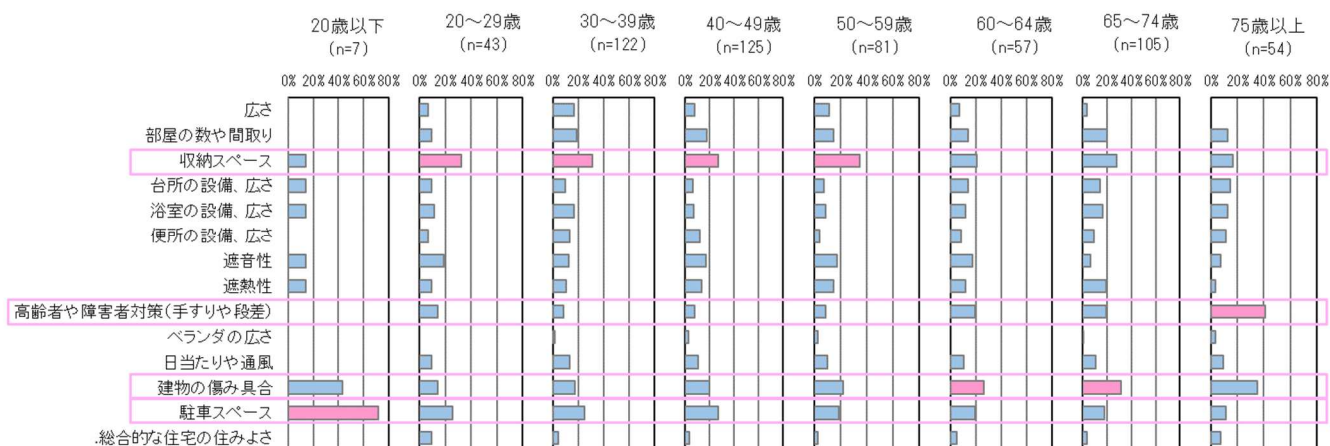
【小学校区別】

- ・「長嶺小学校区」「座安小学校区」以外の校区で、「収納スペース」が最も多くなっており、特に「ゆたか小学校区」では30%を超えています。
- ・「長嶺小学校区」と「座安小学校区」では「建物の傷み具合」が最も多く、特に「長嶺小学校区」では約40%を占めています。
- ・「建物の傷み具合」は平成14年(住宅マスタープラン策定時)と比べると割合が高くなっており、昔からの集落地区である「長嶺小学校区」「座安小学校区」「ゆたか小学校区」は高い傾向があります。



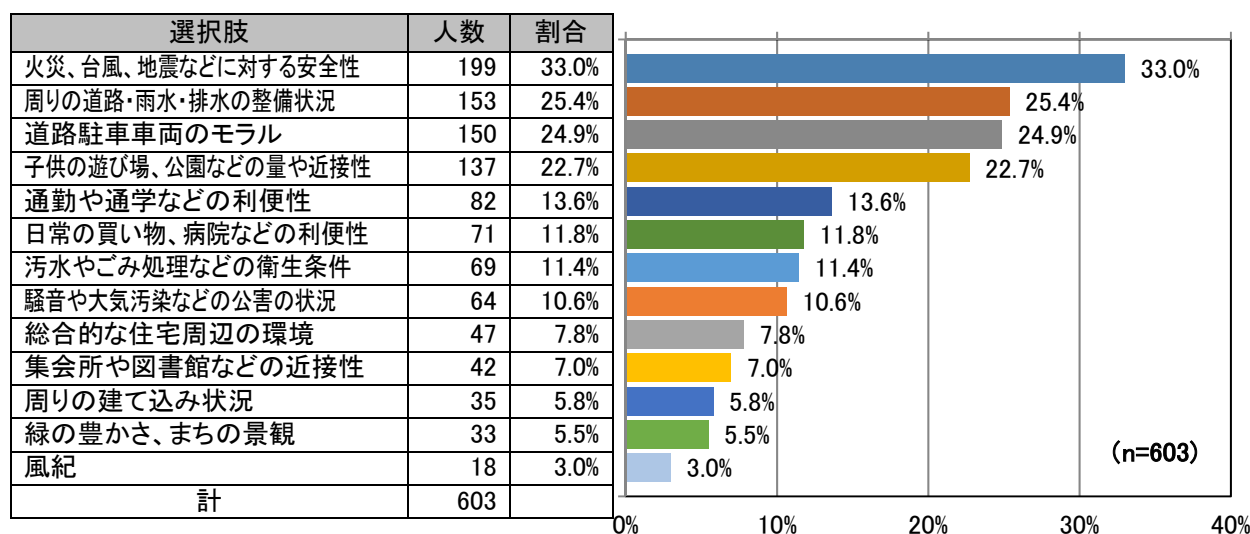
【年齢別】

- ・20歳～59歳迄の生産年齢世代では「収納スペース」もしくは「駐車スペース」が比較的に多く、20歳以下の若者世代では「駐車スペース」「建物の傷み具合」の回答が集中しています。
- ・60歳～75歳以上の老年年齢世代では「建物の傷み具合」が比較的多く、75歳以上になると「高齢者や障がい者対策(手すりや段差)」が最も多くなっています。



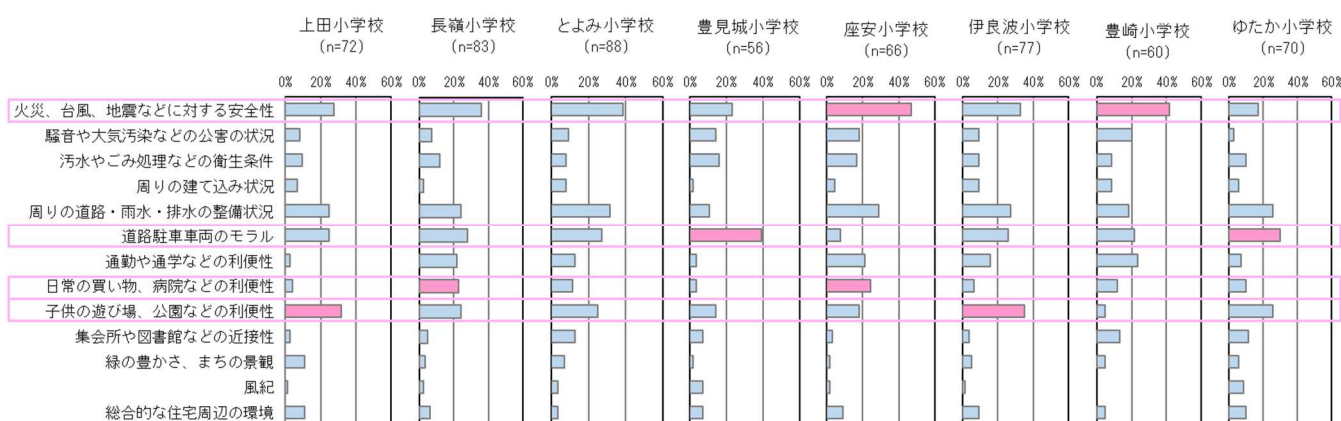
問3 現在のお住まいの周辺の環境について、日頃お困りのこと、不安や不満を感じることはありますか。

- ・「火災・台風・地震などに対する安全性」が約33%と最も多く、次いで「周りの道路・雨水・排水の整備状況」「道路駐車車両のモラル」が約25%となっています。
- ・自然災害への対応や、生活環境に直結する事（路上駐車・子供の遊び場・通勤通学）に不安や不満を感じていると考えられます。



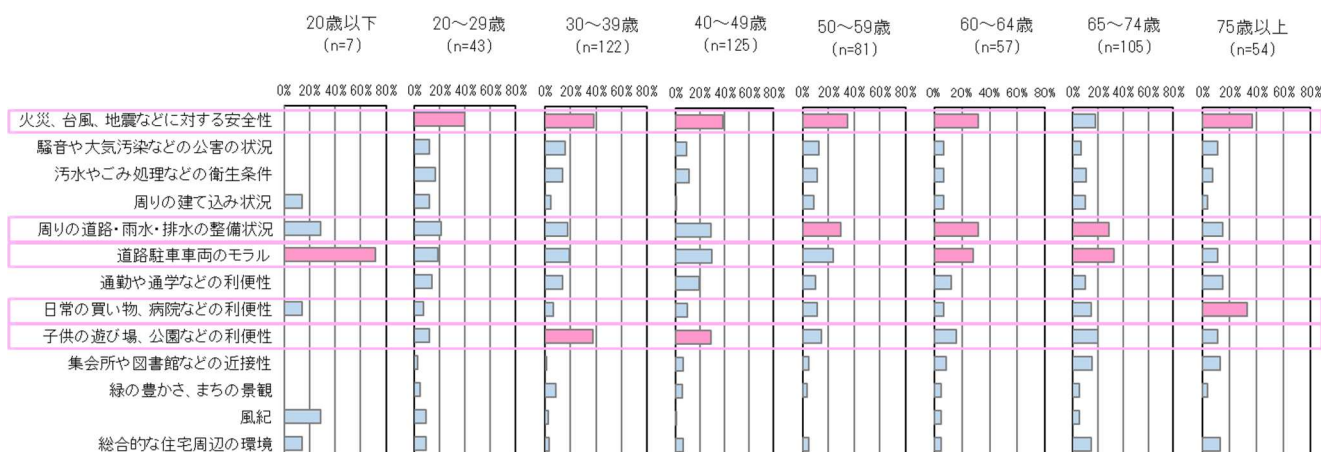
【小学校区別】

- 全ての校区で高い割合になっている「火災・台風・地震などに対する安全性」ですが、特に「座安小学校区」と「豊崎小学校区」で高くなっています。
- 「道路駐車車両のモラル」が最も多い校区は、「豊見城小学校区」「ゆたか小学校区」で、「豊見城小学校区」では特に多く、今も平成14年度の調査も変わらず他の校区に比べて最も高い割合になっており、車両モラルの深刻性が今も以前と変わらずにある事が分かります。
- 「日常の買い物・病院などの利便性」が他の校区に比べて多いのは、「長嶺小学校区」と「座安小学校区」で、日常生活の移動に不便を感じている人(特に高齢者)が多い事が分かります。
- 「上田小学校区」「伊良波小学校区」では「子供の遊び場・公園などの利便性」が上位に上がっています。
- 「道路駐車車両のモラル」が平成14年度の調査ではほとんどの校区の上位でしたが、「豊見城小学校区」「ゆたか小学校区」を除き、今回調査は「火災・台風・地震などに対する安全性」の方が上位になっています。



【年齢別】

- 20歳以上では「火災、台風、地震などに対する安全性」「周りの道路・雨水・排水の整備状況」「道路駐車車両のモラル」に回答が多く集まっています。
- 30～49歳では「子供の遊び場、公園などの利便性」についても、多くの回答が集まっています。
- 75歳以上では「日常の買い物、病院などの利便性」が他の世代よりも多く、日常の買い物手段に不便を感じている高齢者が多い事が分かります。



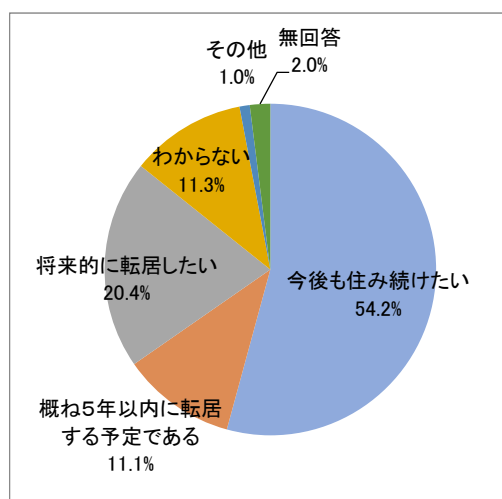
3. 今後の住まいについてお尋ねします。

問4 あなたは現在のお住まい（建て替えた場合も含む）に住み続けたいと思いますか。

（単一回答）

- ・「今後も住み続けたい」が約55%で半数以上を占めており、次いで「将来的に転居したい」が約20%、「わからない」が約11%となっています。
- ・現在の居住地に安定して住み続けたいという傾向がある居住者の反面、将来は転居したいと考えている割合も多く、ライフサイクルに応じた住まい方を考えているが、他の魅力ある場所への漠然とした思いがあるものと考えられます。

選択肢	人数	割合
今後も住み続けたい	327	54.2%
概ね5年以内に転居する予定である	67	11.1%
将来的に転居したい	123	20.4%
わからない	68	11.3%
その他	6	1.0%
無回答	12	2.0%
計	603	100.0%



【小学校区別】

- ・全ての校区で「今後も住み続けたい」が最も多く、特に「長嶺小学校区」では61%、「伊良波小学校区」「豊崎小学校区」では60%を占めています。
- ・「将来的に転居したい」が他の校区に比べて多かったのが、「上田小学校区」「とよみ小学校区」「豊見城小学校区」「座安小学校区」で約1/4となっています。
- ・「上田小学校区」「ゆたか小学校区」では人口が増えています。が、「今後も住み続けたい」と回答している割合が他の校区に比べて低くなっている事から、街の魅力及び求心力が低下していると考えられます。
- ・「豊崎小学校区」で「今後も住み続けたい」という意見が60%と多くあげられていることから、新市街地の住みやすさや魅力を求めていると考えられ、移住者をはじめとする定住志向が高いといえます。

（人数、割合）

	上田小学校	長嶺小学校	とよみ小学校	豊見城小学校	座安小学校	伊良波小学校	豊崎小学校	ゆたか小学校	不明	総計
今後も住み続けたい	34 47%	51 61%	47 53%	25 45%	35 53%	46 60%	36 60%	34 49%	19 61%	327 54%
概ね5年以内に転居する予定	9 13%	6 7%	9 10%	6 11%	5 8%	9 12%	8 13%	13 19%	2 6%	67 11%
将来的に転居したい	17 24%	15 18%	21 24%	13 23%	15 23%	14 18%	8 13%	13 19%	7 23%	123 20%
わからない	9 13%	8 10%	9 10%	10 18%	9 14%	8 10%	6 10%	8 11%	1 3%	68 11%
その他	0 0%	1 1%	1 1%	1 2%	2 3%	0 0%	1 2%	0 0%	0 0%	6 1%
無回答	3 4%	2 2%	1 1%	1 2%	0 0%	0 0%	1 2%	2 3%	2 6%	12 2%
件数	72 100%	83 100%	88 100%	56 100%	66 100%	77 100%	60 100%	70 100%	31 100%	603 100%

【家族構成別】

- ・「単身」と「兄弟姉妹のみ」世帯以外の世帯で、「今後も住み続けたい」が過半数を超えて多く、「親と夫婦のみ」の75%が最も多く、次いで「三世帯同居」の66%となっており、定住志向が高い事がわかります。
- ・「将来的に転居したい」は「兄弟姉妹のみ」の67%が最も多く、次いで「単身」の39%となっています。
- ・「ひとり親と子」では定住意向が52%、転居意向が40%となっており、「両親と子ども」では定住意向が50%、転居意向が36%となっており、定住意向の方が多いものの、転出意向も多く、定住化に向けた対策が求められます。

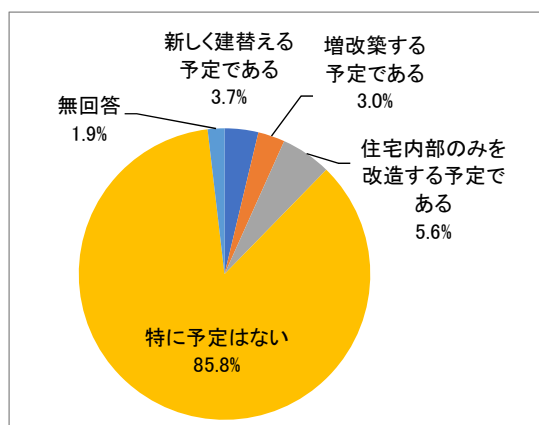
(人数、割合)

	単身		夫婦のみ		両親と子ども		ひとり親と子ども		親と夫婦のみ		三世帯同居		兄弟姉妹のみ		その他		無回答		総計	
今後も住み続けたい	17	31%	85	62%	128	50%	26	52%	3	75%	19	66%	1	33%	37	67%	11	79%	327	54%
概ね5年以内に転居する予定である	7	13%	6	4%	41	16%	8	16%	0	0%	0	0%	0	0%	4	7%	1	7%	67	11%
将来的に転居したい	21	39%	27	20%	51	20%	12	24%	1	25%	3	10%	2	67%	5	9%	1	7%	123	20%
わからない	7	13%	17	12%	30	12%	3	6%	0	0%	4	14%	0	0%	7	13%	0	0%	68	11%
その他	1	2%	0	0%	4	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	6	1%
無回答	1	2%	3	2%	2	1%	1	2%	0	0%	3	10%	0	0%	1	2%	1	7%	12	2%
総計	54	100%	138	100%	256	100%	50	100%	4	100%	29	100%	3	100%	55	100%	14	100%	603	100%

問5-ア) 問4で「1」を選んだ方で、持ち家の方にお尋ねします。現在のお住まいを5年以内に改善する予定はありますか。(単一回答)

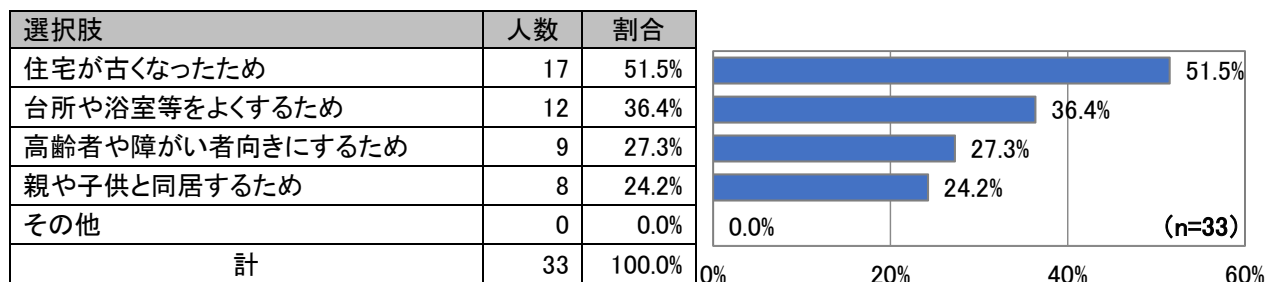
- ・「特に予定はない」が約86%を占めており、次いで「住宅内部のみを改造する予定である」が約6%となっています。
- ・「新しく建て替える予定である」が約4%、「増改築する予定である」が3%と少数意見となっています。
- ・5年以内に改造する予定がないとの回答が全多数で、建替え・増改築・内部の改造を考えているとの回答の割合が少なく、直近の改修の必要がないと考えている割合が多いことから、改善等を必要としない新しい住居が多いと想定されます。

選択肢	人数	割合
新しく建替える予定である	10	3.7%
増改築する予定である	8	3.0%
住宅内部のみを改造する予定である	15	5.6%
特に予定はない	230	85.8%
無回答	5	1.9%
計	268	100.0%



問5-イ) 問4で「1」を選んだ方で、持ち家の方にお尋ねします。建替えや増改築する理由は何ですか。(複数回答)

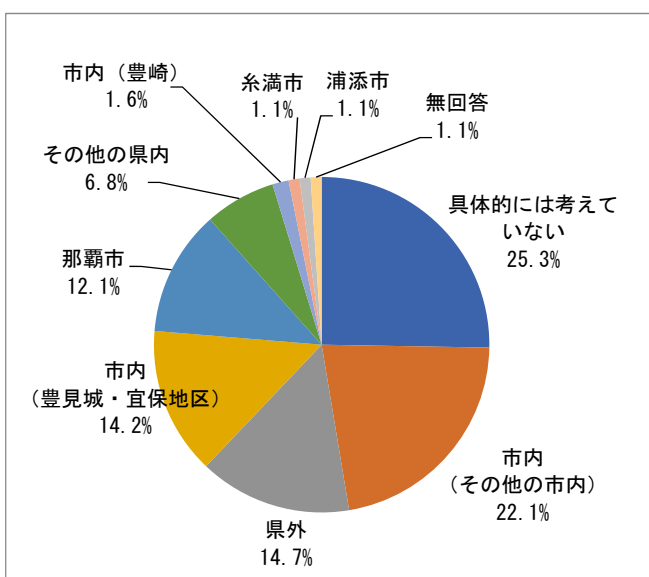
- ・「住宅が古くなったため」が約52%と多く、次いで「台所や浴室等をよくするため」が約36%、「高齢者や障がい者向きにするため」「親や子供と同居するため」の順となっています。
- ・住宅が古いこと及びライフサイクル上の居住環境の変化により改修を行いたいため、建替え・増改築を希望していると考えられます。



問6-ア) 問4で「2」「3」を選んだ方にお尋ねします。希望する転居先はどこですか。(単一回答)

- ・「具体的には考えていない」が約25%と最も多く、次いで「市内(その他の地区)」が約22%、「県外」が約15%、「市内(豊見城・宜保地区)」が約14%、「那覇市」が共に約12%となっており、総体的には豊崎以外の市内への転居志向が約38%と最も多く、次いで「県外」「那覇市」の順となっています。
- ・約73%の方は転居先がすでに決まっており、市内での転居志向が約40%と高いものの、地元市民の豊崎への転居志向は低くなっており、敢えて新興住宅地への転居を求めていると考えられます。

選択肢	人数	割合
具体的には考えていない	48	25.3%
市内(その他の市内)	42	22.1%
県外	28	14.7%
市内(豊見城・宜保地区)	27	14.2%
那覇市	23	12.1%
その他の県内	13	6.8%
市内(豊崎)	3	1.6%
糸満市	2	1.1%
浦添市	2	1.1%
無回答	2	1.1%
合計	190	100.0%



【小学校区別】

- 「上田小学校区」「長嶺小学校区」「伊良波小学校区」で、半数近くが市外への転出を希望しています。

(人数、割合)

	上田小学校	長嶺小学校	とよみ小学校	豊見城小学校	座安小学校	伊良波小学校	豊崎小学校	ゆたか小学校	不明	総計
市外	12 46%	10 48%	7 23%	3 16%	6 30%	11 48%	7 44%	9 35%	3 33%	68 36%
転居を希望	26 100%	21 100%	30 100%	19 100%	20 100%	23 100%	16 100%	26 100%	9 100%	190 100%

【年齢別】

- 「20歳以下」「20～29歳」と若い世代の市外転出希望者が多いことから、進学や就職等で市外へ転出する人が多いことがわかります。

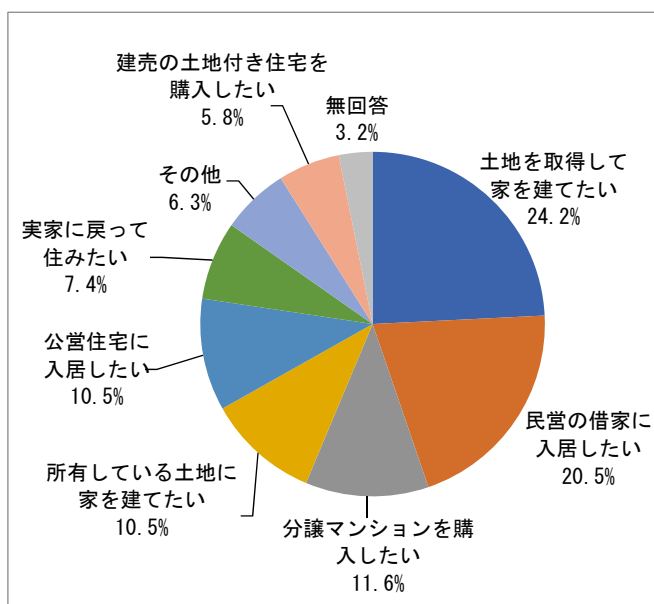
(人数、割合)

	20歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上	無回答	総計
市外	2 67%	10 42%	22 39%	17 38%	8 42%	3 20%	3 25%	2 14%	1 100%	68 36%
転居を希望	3 100%	24 100%	57 100%	45 100%	19 100%	15 100%	12 100%	14 100%	1 100%	190 100%

問6-イ) 問4で「2」「3」を選んだ方にお尋ねします。引越し先に希望する住宅タイプは何ですか。(単一回答)

- 「土地を所得して家を建てたい」が約24%と最も多く、次いで「民営の借家に入居したい」が約21%、「分譲マンションを購入したい」が約12%、「所有している土地に家を建てたい」「公営住宅に入居したい」が約11%となっており、「実家に戻って住みたい」「建売の土地付き住宅を購入したい」は10%以下となっています。
- 土地、住宅を購入したい方が多い反面、賃貸住宅に入居希望もみられ、経済的事情も影響しているものと思われませんが、魅力ある住みたくなる賃貸住宅の供給も必要と考えられま

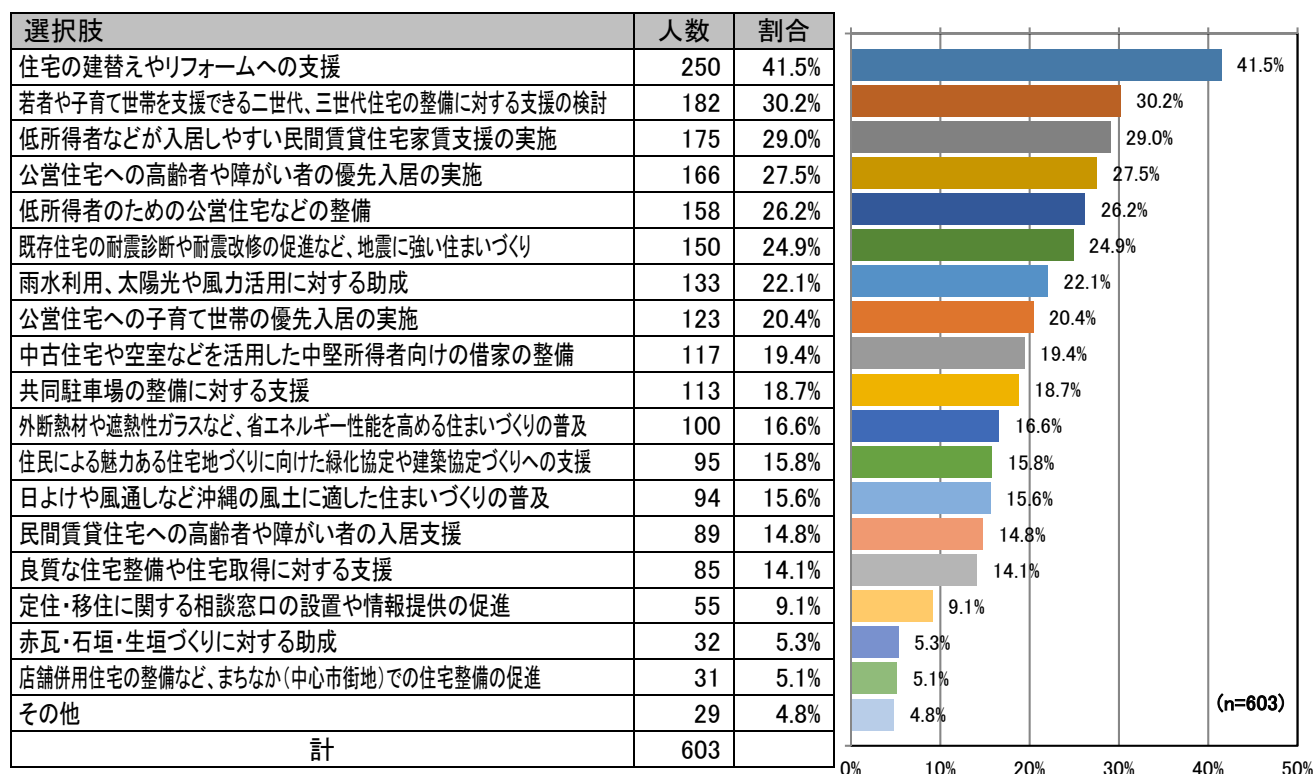
選択肢	人数	割合
土地を取得して家を建てたい	46	24.2%
民営の借家に入居したい	39	20.5%
分譲マンションを購入したい	22	11.6%
所有している土地に家を建てたい	20	10.5%
公営住宅に入居したい	20	10.5%
実家に戻って住みたい	14	7.4%
その他	12	6.3%
建売の土地付き住宅を購入したい	11	5.8%
無回答	6	3.2%
合計	190	100.0%



4. 豊見城市の住宅施策についてお尋ねします。

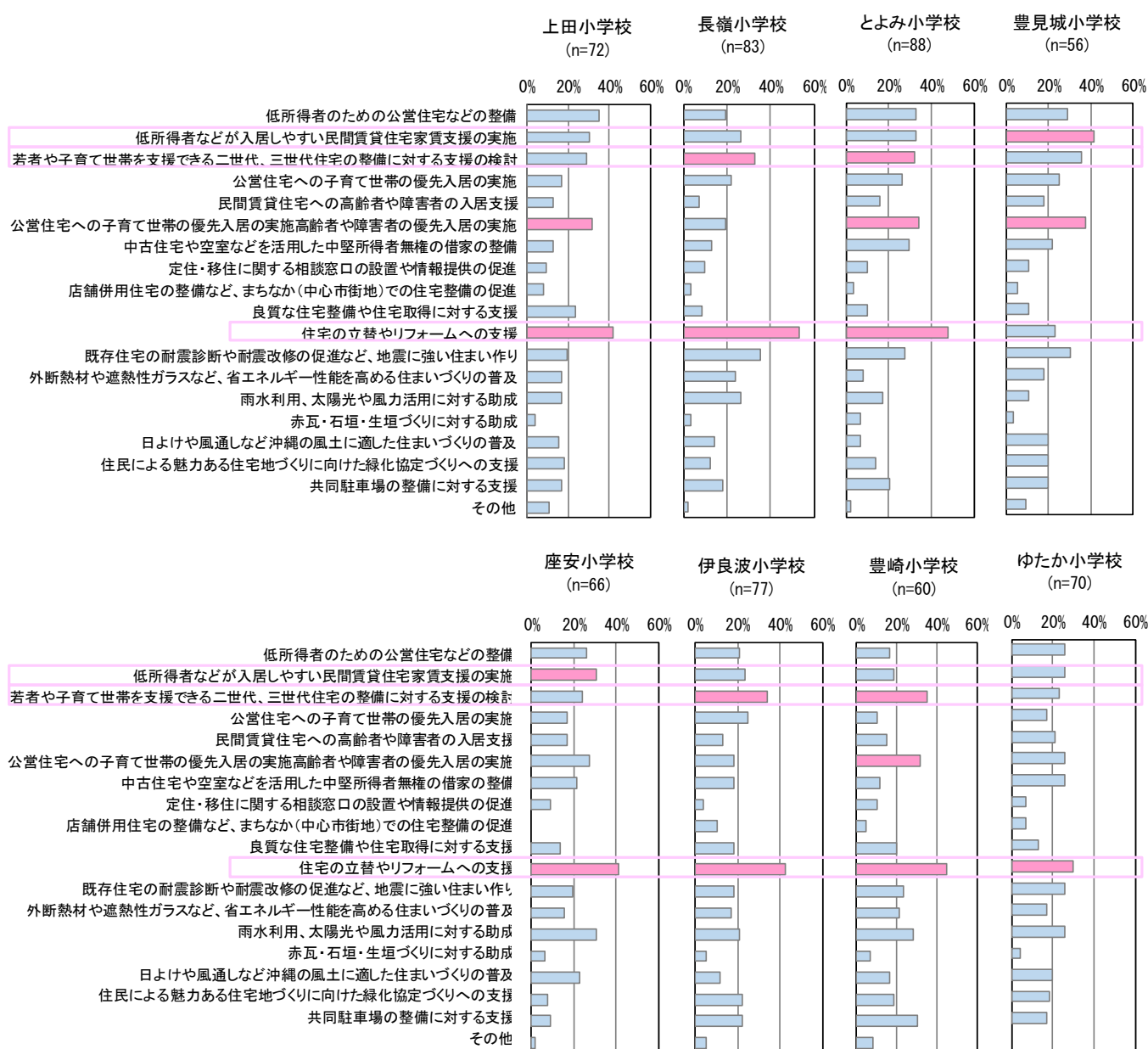
問7 市が進める住宅施策について、あなたが特に力を入れて取り組む必要があると考えるものは、次のうち何ですか。（複数回答）

- ・「住宅の建替えやリフォームへの支援（約42%）」が最も高く、次いで「若者や子育て世帯を支援できる二世帯、三世帯住宅の整備に対する支援の検討（約30%）」、「低所得者などが入居しやすい民間賃貸住宅家賃支援の実施（約29%）」、「公営住宅への高齢者や障がい者の優先入居の実施（約28%）」、「低所得者のための公営住宅などの整備（約26%）」の順で回答者の4分の1を超える方が選択しています。
- ・高齢者との同居、または自身の将来のためのリフォームの支援を希望していると考えられる他、住宅困窮者が住居確保の支援も必要としていることが浮き彫りになっています。



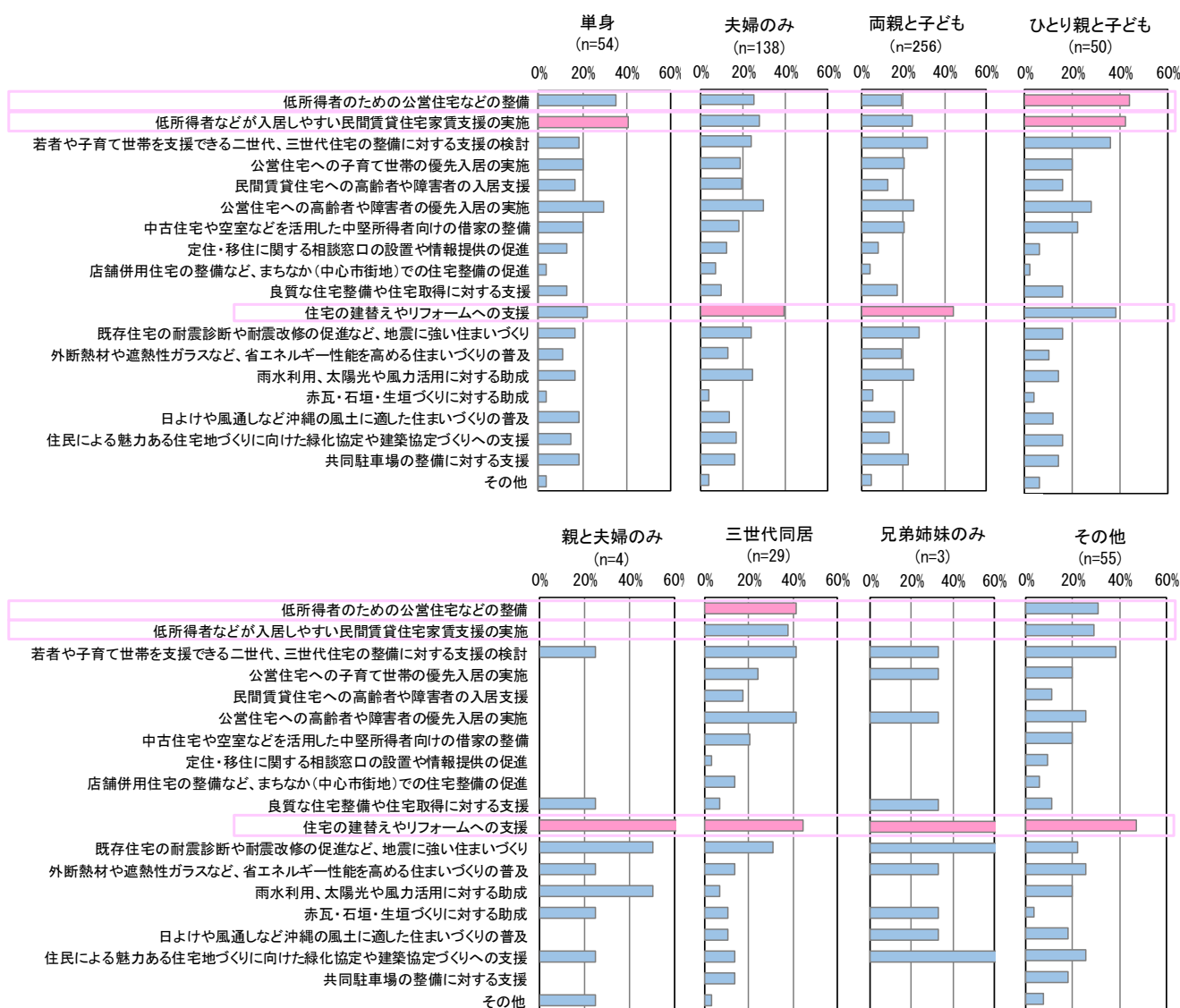
【小学校区別】

- 「豊見城小学校区」以外の校区で「住宅の建替えやリフォームへの支援」の回答が最も多くなっており、特に「長嶺小学校区」では50%を超えています。
- 「低所得者が入居しやすい民間賃貸住宅家賃支援の実施」について「豊見城小学校区」「座安小学校区」で30%を超えています。
- 「公営住宅への子育て世帯の優先入居の実施・高齢者障がい者の優先入居の実施」について「上田小学校区」「とよみ小学校区」「豊見城小学校区」「豊崎小学校区」で30%を超えています。
- 「若者や子育て世帯を支援できる二世帯、三世帯住宅の整備に対する支援の検討」において「長嶺小学校区」「とよみ小学校区」「伊良波小学校区」「豊崎小学校区」で30%を超えています。
- 平成14年度の調査では、ほとんどの校区が「高齢者・身障者向けの住宅の整備・改造への支援」を上位にあげていたことから、「高齢者・身障者向けの住宅の整備・改造」が進展したものと考えられます。



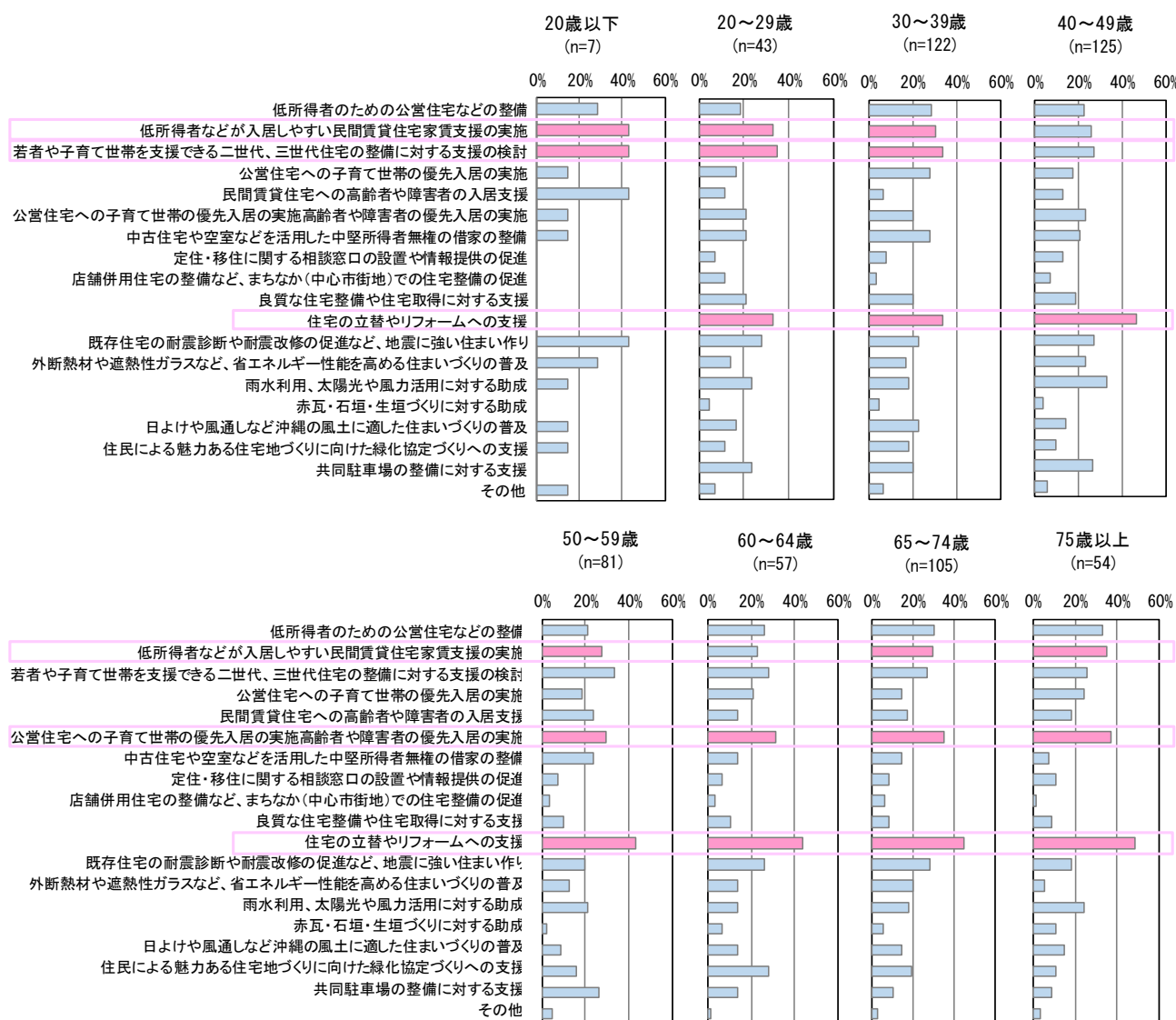
【家族構成別】

- 「単身」と「ひとり親と子ども」以外の世帯で「住宅の建替えやリフォームへの支援」と回答した世帯が最も多くなっています。
- 「ひとり親と子ども」世帯では「低所得者のための公営住宅などの整備」が最も多くなっています。
- 「単身」「ひとり親と子ども」世帯では「所得者などが入居しやすい民間賃貸住宅家賃支援の実施」が多くなっています。
- ほとんどの世帯が「住宅の建替えやリフォームへの支援」を上位にしていますが、「低所得者のための公営住宅などの整備」と「低所得者などが入居しやすい民間賃貸住宅家賃支援の実施」の回答も比較的多くなっています。



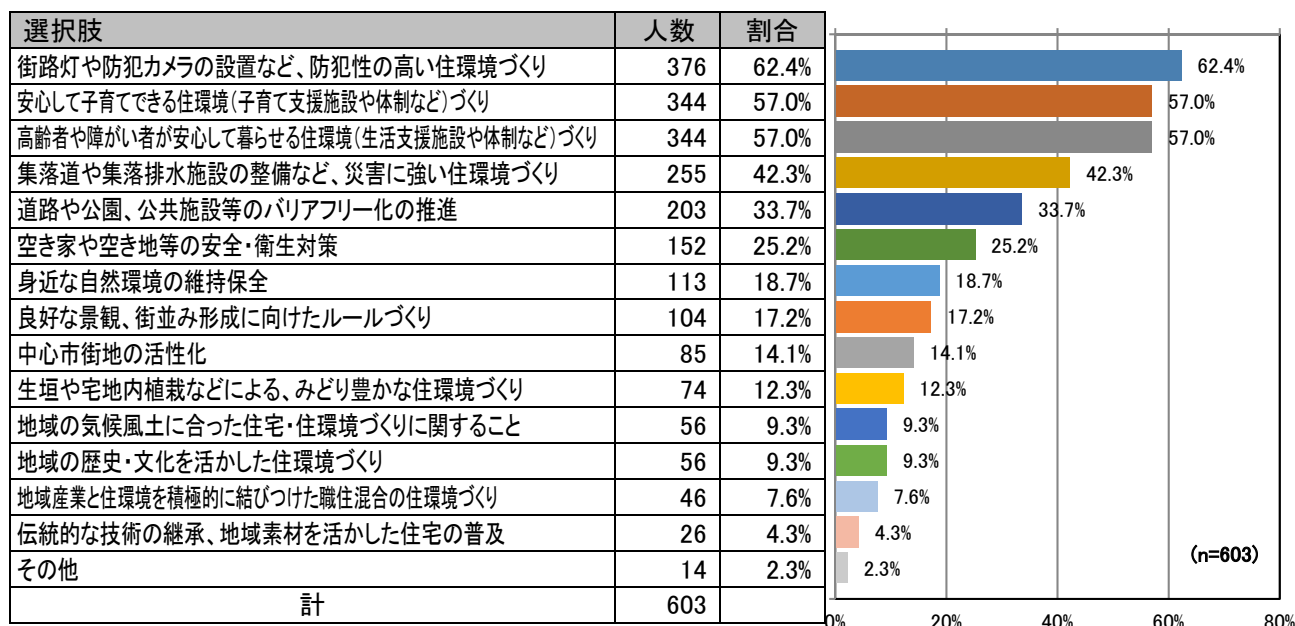
【年齢別】

- 全般的に「住宅の建替えやリフォームへの支援」が多くなっており、40歳以上の世代では40%を超える回答になっています。また、「低所得者などが入居しやすい民間賃貸住宅家賃支援の実施」も同じく全般的に多くなっています。
- 39歳以下の若年・子育て世代では「若者や子育て世帯を支援できる二世帯、三世帯住宅の整備に対する支援の検討」が多く、50歳以上の世代では「公営住宅への子育て世帯の優先入居の実施・高齢者障がい者の優先入居の実施」が多くなっています。



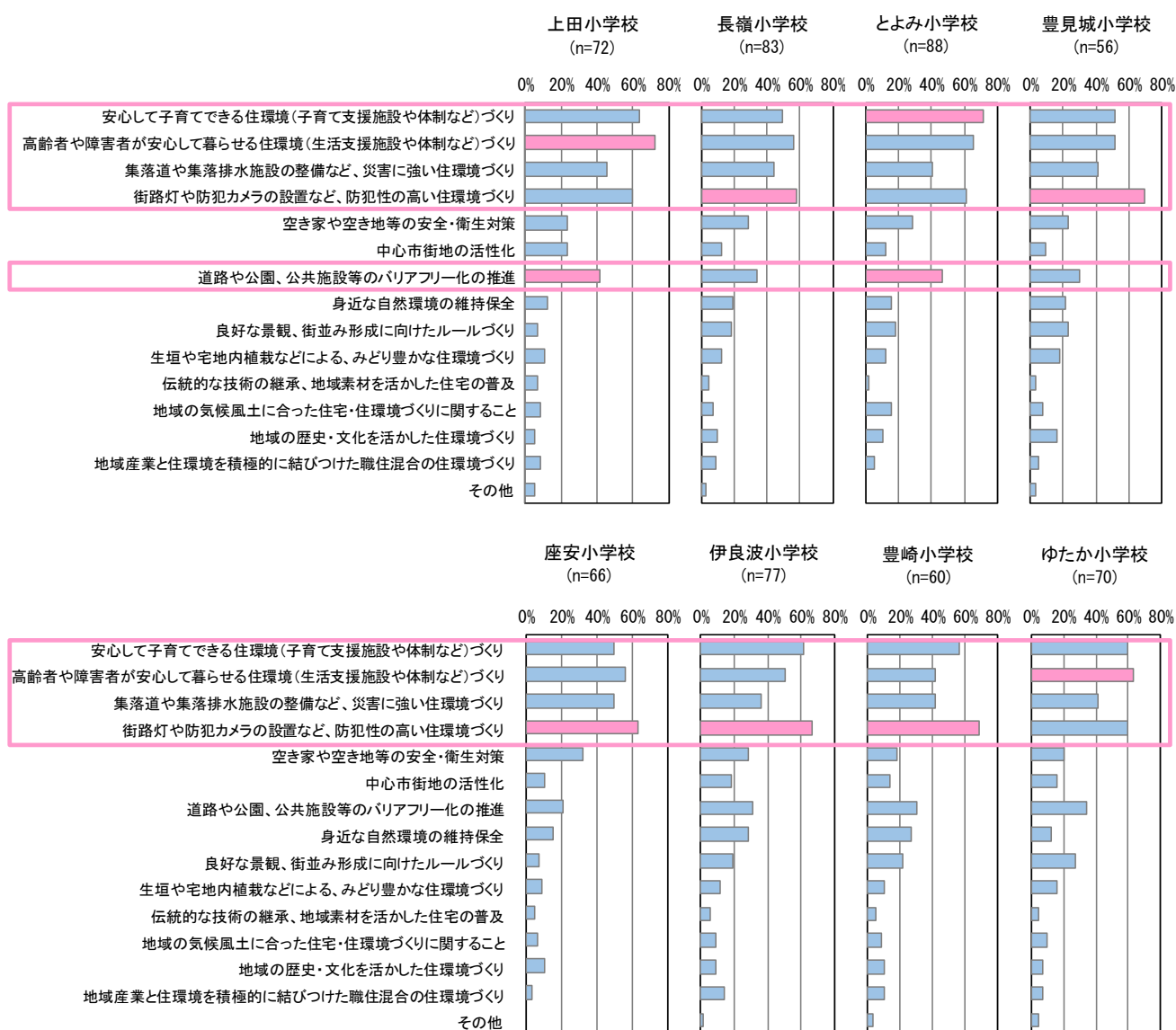
問8 市内の身近な生活環境を良くするためには、どのような点に力を入れるべきと思いますか。（複数回答）

- ・「街路灯や防犯カメラの設置など、防犯性の高い住環境づくり（約62%）」が最も多く、次いで「安心して子育てできる住環境（子育て支援施設や体制など）づくり」「高齢者や障がい者が安心して暮らせる住環境（生活支援施設や体制など）づくり（約57%）」「集落道や集落排水施設の整備など、災害に強い住環境づくり（約42%）」「道路や公園、公共施設等のバリアフリー化の推進（約34%）」の順で回答者の3分の1を超える方が選択しています。
- ・高齢者や障がい者、若者、子育て世代及び低所得者向けの支援に力を入れるべきとの回答が多くなっていることから、誰もが安心して暮らし、住みやすい環境へのニーズが高いといえます。



【小学校区別】

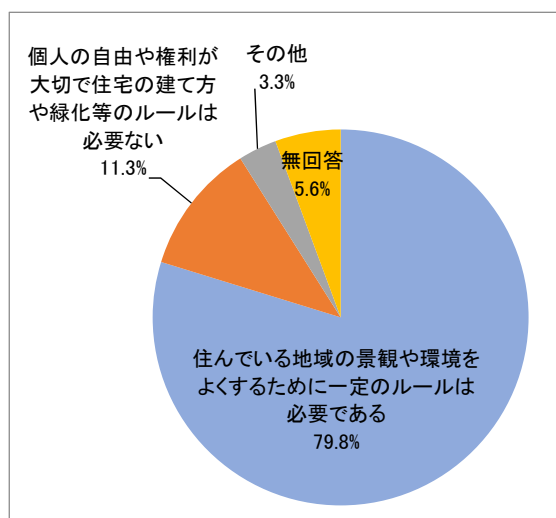
- 各学区とも「安心して子育てできる住環境(子育て支援施設や体制など)づくり」「高齢者や障がい者が安心して暮らせる住環境(生活支援施設や体制など)づくり」「街路灯や防犯カメラの設置など、防犯性の高い住環境づくり」「集落道や集落排水施設の整備など、災害に強い住環境づくり」回答が多く集まっており、安全対策を考えていく必要があります。
- 「上田小学校区」「とよみ小学校区」では上記に加えて「道路や公園、公共施設等のバリアフリー化の推進」に対して40%を超える回答があり、高齢者に対応する住環境づくりを求めている傾向があると考えられます。



問9 あなたのお住まいの地域で、緑地協定や建築協定などの良好な住環境を形成するための住民主体のルールづくりが起こった場合、あなたはどのようにお考えですか。（単一回答）

- 「住んでいる地域の景観や環境をよくするために一定のルールは必要である」が約80%と過半数を占めています。
- 「個人の自由や権利が大切に住宅の建て方や緑化等のルールは必要ない」が約11%となっています。
- 住環境の形成に一定のルールが必要との考えが多く、良好な街並み景観等に志向が高い層の方が多いといえます。

選択肢	人数	割合
住んでいる地域の景観や環境をよくするために一定のルールは必要である	481	79.8%
個人の自由や権利が大切に住宅の建て方や緑化等のルールは必要ない	68	11.3%
その他	20	3.3%
無回答	34	5.6%
計	603	100.0%

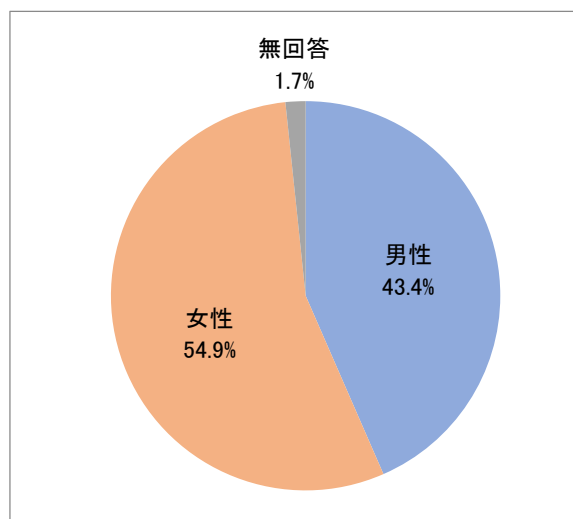


5. あなたとご家族についてお尋ねします。

F1. 年齢

- 「女性」が約55%(331人)、「男性」が約43%(262人)となっており、女性からの回答が若干多くなっています。

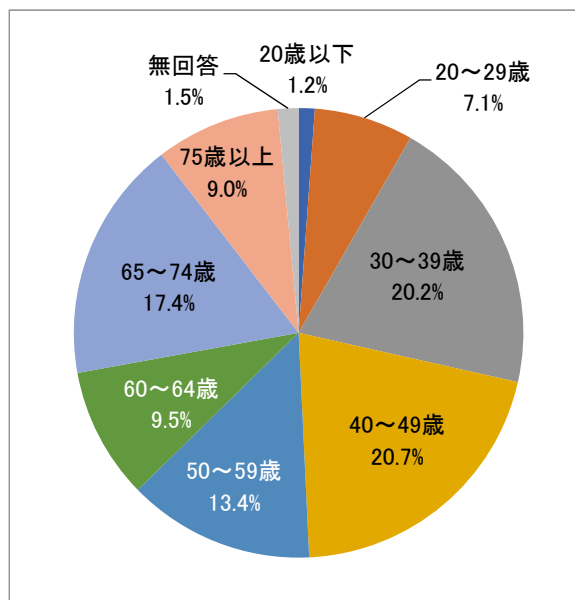
選択肢	人数	割合
男性	262	43.4%
女性	331	54.9%
無回答	10	1.7%
計	603	100.0%



F2. 年齢

- 「30～39歳」「40～49歳」が約20%とほぼ同じ割合で最も多くなっています。
- 次いで「65～74歳」の約17%、「50～59歳」の約13%、「60～64歳」の約10%となっています。
- 「20～29歳」7%と「20歳以下」1%と最も少なくなっています。

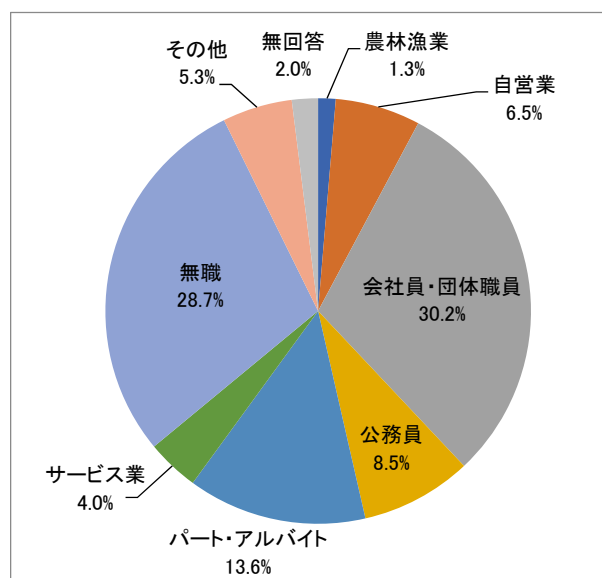
選択肢	人数	割合
20歳以下	7	1.2%
20～29歳	43	7.1%
30～39歳	122	20.2%
40～49歳	125	20.7%
50～59歳	81	13.4%
60～64歳	57	9.5%
65～74歳	105	17.4%
75歳以上	54	9.0%
無回答	9	1.5%
計	603	100.0%



F3. 職業

- 「会社員・団体職員」の約30%が最も多くなっています。
- 次いで「無職」の約29%、「パート・アルバイト」の約14%、「公務員」の約9%、「自営業」の約7%と続いています。
- 「農林漁業」が1.3%と最も少ない回答となっています。

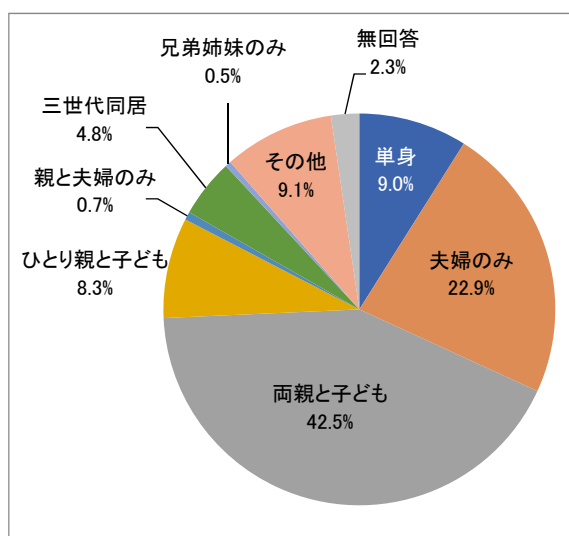
選択肢	人数	割合
農林漁業	8	1.3%
自営業	39	6.5%
会社員・団体職員	182	30.2%
公務員	51	8.5%
パート・アルバイト	82	13.6%
サービス業	24	4.0%
無職	173	28.7%
その他	32	5.3%
無回答	12	2.0%
計	603	100.0%



F4. 家族構成

- 「両親と子ども」の約43%と最も多くなっています。
- 次に「夫婦のみ」の約23%、「単身」が約9%で、「三世同居」が約5%と続いています。
- 「兄弟姉妹のみ」が0.5%と最も少ない回答となっています。

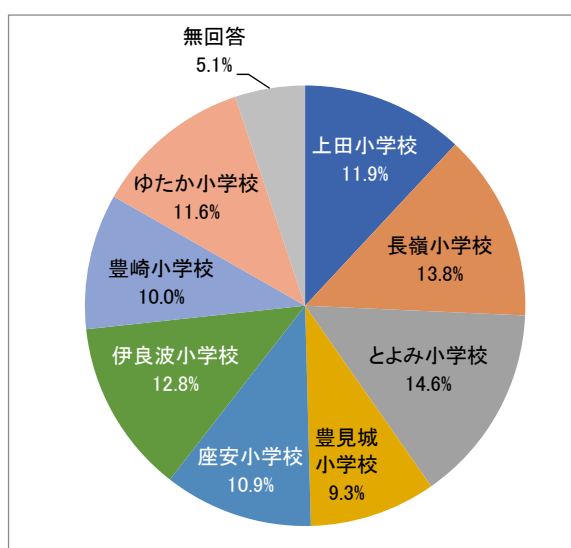
選択肢	人数	割合
単身	54	9.0%
夫婦のみ	138	22.9%
両親と子ども	256	42.5%
ひとり親と子ども	50	8.3%
親と夫婦のみ	4	0.7%
三世同居	29	4.8%
兄弟姉妹のみ	3	0.5%
その他	55	9.1%
無回答	14	2.3%
計	603	100.0%



F5. お住まいの学区

- 「とよみ小学校」が約15%と最も多くなっています。
- 次に「長嶺小学校」が約14%、「伊良波小学校」が約13%、「上田小学校」「ゆたか小学校」が約12%、「座安小学校」が約11%、「豊崎小学校」が10%となっています。

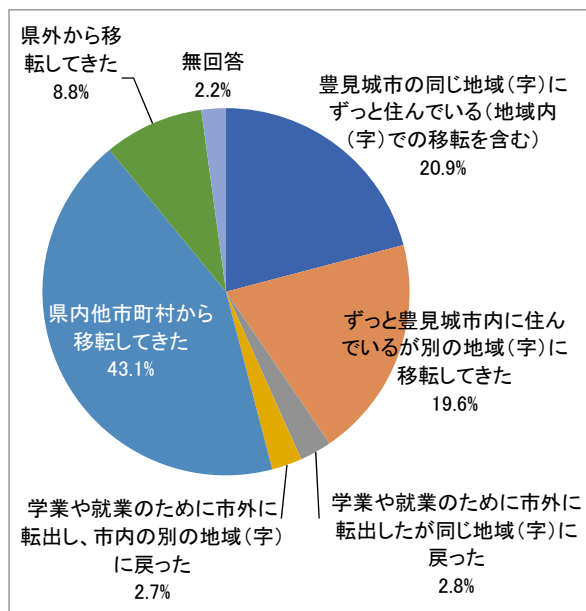
選択肢	人数	割合
上田小学校	72	11.9%
長嶺小学校	83	13.8%
とよみ小学校	88	14.6%
豊見城小学校	56	9.3%
座安小学校	66	10.9%
伊良波小学校	77	12.8%
豊崎小学校	60	10.0%
ゆたか小学校	70	11.6%
無回答	31	5.1%
計	603	100.0%



F6. 現在の場所にはいつからお住まいですか。

- ・「県内他市町村から移転してきた」が約43%と最も多くなっています。
- ・次いで「豊見城市の同じ地域(字)にずっと住んでいる」が約21%、「ずっと豊見城市内に住んでいるが別の地域(字)に移転してきた」が約20%、「県外から移転してきた」が約9%となっています。

選択肢	人数	割合
豊見城市の同じ地域(字)にずっと住んでいる(地域内(字)での移転を含む)	126	20.9%
ずっと豊見城市内に住んでいるが別の地域(字)に移転してきた	118	19.6%
学業や就業のために市外に転出したが同じ地域(字)に戻った	17	2.8%
学業や就業のために市外に転出し、市内の別の地域(字)に戻った	16	2.7%
県内他市町村から移転してきた	260	43.1%
県外から移転してきた	53	8.8%
無回答	13	2.2%
計	603	100.0%



(2) 自由意見

自由意見を、項目別に多い意見や特質される意見に要約した内容を以下に示します。

① 都市整備・街づくりに関わる事項	1.道路の整備に関する項目	25件
	歩道車道の拡幅・安全性の確保・駐車場の整備等	
	2.路上駐車に関する項目	9件
	路上駐車がとにかく多いという意見が多数	
	3.交通問題に関する項目	6件
	公共交通の整備(バス・モノレール)	
	4.街灯の整備に関する項目	9件
	通学路の街灯設置・夜道の安全性確保	
	5.公園の整備に関する項目	11件
	安全性の確保整備・公園増やしてほしい・遊具の整備	
② 年齢者・子育て・障害・高齢者に関わる事項	1.子育て支援・環境整備に関する項目	14件
	豊崎中学校の建設希望・保育園の整備・子育て支援	
	2.高齢者・障害者に関する項目	4件
高齢者・障害者に配慮した環境づくり		
③ 日常生活に関わる事項	1.災害対策	3件
	災害に強い住環境づくり	
	2.清掃・美化	15件
	道路・公園等の整理美化	
	3.騒音・近隣問題	5件
	野焼きの防止・戦闘機の騒音	
4.施設の希望	2件	
豊崎図書館・商業施設の誘致		